

## 自閉スペクトラム症の心理療法におけるコミック会話の有用性

### 執筆者

高塚智行・畠中雄平

### 概要

#### 【目的】

コミック会話（Comic Strip Conversations, CSC）は、自閉スペクトラム症（Autism Spectrum Disorder, ASD）の子どもが得意とする視覚的認知を活かした支援法であり、出来事と、人の会話や感情などを、簡単な絵やシンボル、言葉、色などを用いて視覚化する。これまで、心理面接において CSC を使用した症例研究報告はみられていない。よって、本研究では、CSC を対人関係の問題への心理面接に継続的に取り入れた ASD の 2 症例について、子どもが書いた CSC の内容、感情表現や他者理解、対人場面での適応の変化を報告し、ASD の子どもの心理面接における CSC の有効性について考察した。

#### 【結果】

CSC を用いた関わりにより、子どもとセラピストとのコミュニケーションが良好になった。その結果、セラピストは子どもの特性をより理解し、支援の方向性を明確にすることができた。子ども達の CSC の内容は、最初は物や情景を中心としたものが、人へ注目したものへと変化した。また感情表現が増加した。日常生活では友達との関わりが増え、対人関係の問題が少なくなった。これらの変化は、CSC が ASD の子どもの心理社会的成長の一助となることを示唆していると考えられる。